

淀川水系ダム事業費等監理委員会資料

—大戸川ダム建設事業—

令和8年5月11日

近畿地方整備局 大戸川ダム工事事務所

1. 事業概要

1) 流域の概要

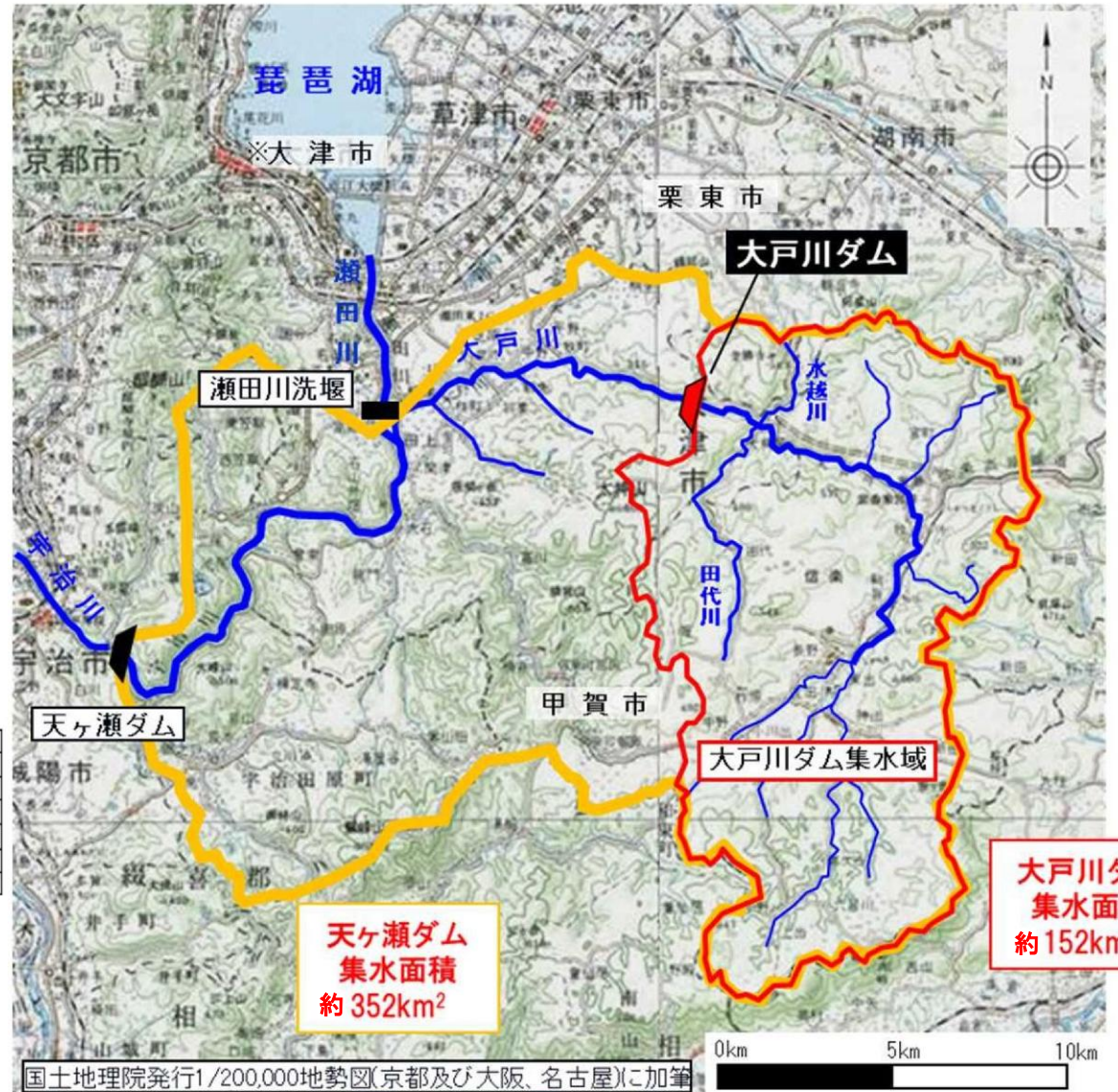
淀川水系 大戸川

流域面積：約190km²

流路延長：約38km

大戸川ダム

集水面積：約152km²



2) 事業の経緯

予備調査	昭和43年	予備調査着手	
	昭和53年 4月	実施計画調査着手	
実施計画調査	平成元年 5月	建設事業採択	
	平成 3年 3月	特定多目的ダム法に基づく基本計画告示	
	平成 4年10月	工事用道路着手	
	平成 6年10月	大戸川ダム建設事業に伴う損失補償基準協定書の締結	
	平成10年 3月	大鳥居地区（水没地）の移転完了	
	平成11年 6月	付替県道大津信楽線着工	
	平成13年 7月	水源地域対策特別措置法に基づく水源地域整備計画決定	
	平成17年 7月	淀川水系5ダムについての方針公表	
	平成19年 8月	淀川水系河川整備基本方針策定	
	平成19年 8月	淀川水系河川整備計画原案公表	
	平成19年12月	淀川水系河川整備計画原案における各ダムの概算事業費を公表（事業費：概ね1,080億円）	
	平成21年 3月	淀川水系河川整備計画策定	
	建設	<p>大戸川ダムについては、利水の撤退等に伴い、洪水調節目的専用の流水型ダムとするが、<u>ダム本体工事については、中・上流部の河川改修の進捗状況とその影響を検証しながら実施時期を検討する。</u> また、これまで進捗してきた準備工事である県道大津信楽線の付替工事については、交通機能を確保できる必要最小限のルートとなるよう見直しを行うなど徹底的にコストを縮減した上で継続して実施する。</p>	
		平成21年 7月	淀川水系ダム事業費等監理委員会 設立
		平成21年12月	ダム事業の検証に係る検討を開始
		平成23年 3月	特定多目的ダム法に基づく基本計画廃止
		平成28年 8月	ダム事業の検証における対応方針決定（事業継続、事業費：約1,163億円、工期：工事用道路着工から事業完了までに8年間程度を要する見込み、工事用道路着工までに調査設計等で4年間程度を要する見込み）
令和 3年 8月		事業再評価における対応方針決定（事業継続、事業費：約1,163億円、工期：令和15年度末）	
令和 3年 8月		淀川水系河川整備計画変更	
<p>大戸川ダムについては、環境影響をできる限り回避・低減するための環境調査を含め、<u>必要な調査等を行ったうえで本体工事を実施する。</u>事業の実施にあたっては、コスト縮減や負担の平準化に努める。</p>			
令和 5年 3月		付替県道大津信楽線完成	
令和 7年 4月		大戸川ダム環境調査結果報告書公表	
令和 8年 3月	付替県道栗東信楽線着工		

3) 大戸川ダム建設事業の概要

場所 左岸：滋賀県大津市上田上牧町
おおつ かみたなかみまき
 右岸：滋賀県大津市上田上桐生町
おおつ かみたなかみきりゆう

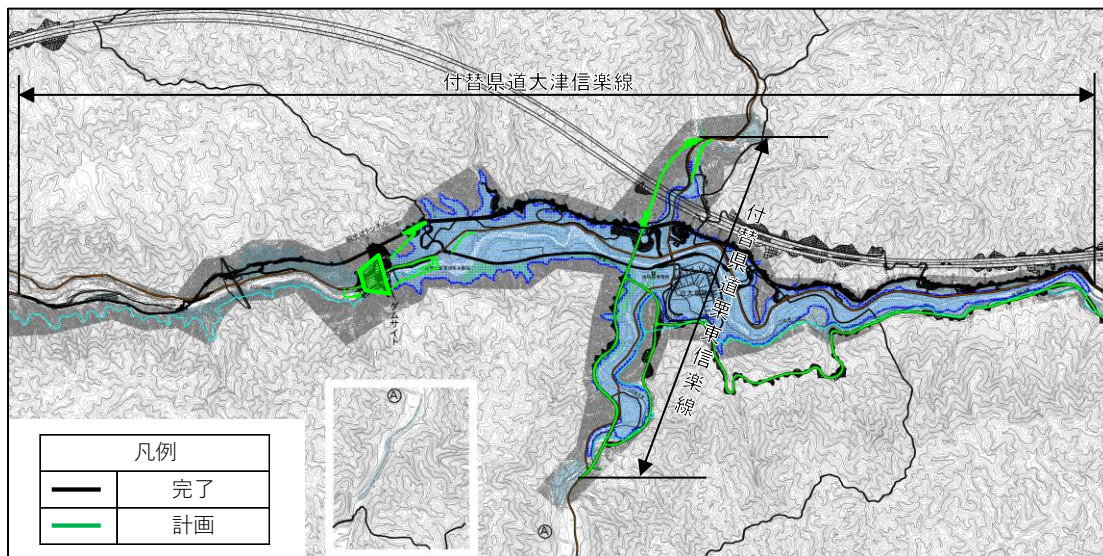
目的 洪水調節（大戸川、宇治川、淀川の洪水防御）

諸元 重力式コンクリートダム、高さ 約67.5m
 湛水面積 約1.2km²、集水面積 約152km²
 洪水調節容量 約21,900千m³

総事業費 約1163億円

工期 昭和53年度～令和15年度まで

事業計画平面図



◆貯水池容量配分図



※大戸川ダムは、常時水を貯める必要のない洪水調節専用のダム（流水型ダム）である。
 ※諸元は現段階のものであり、今後の調査・設計の進捗により変更することがある。
 ※サーチャージ水位及び堆砂容量は精査中である。

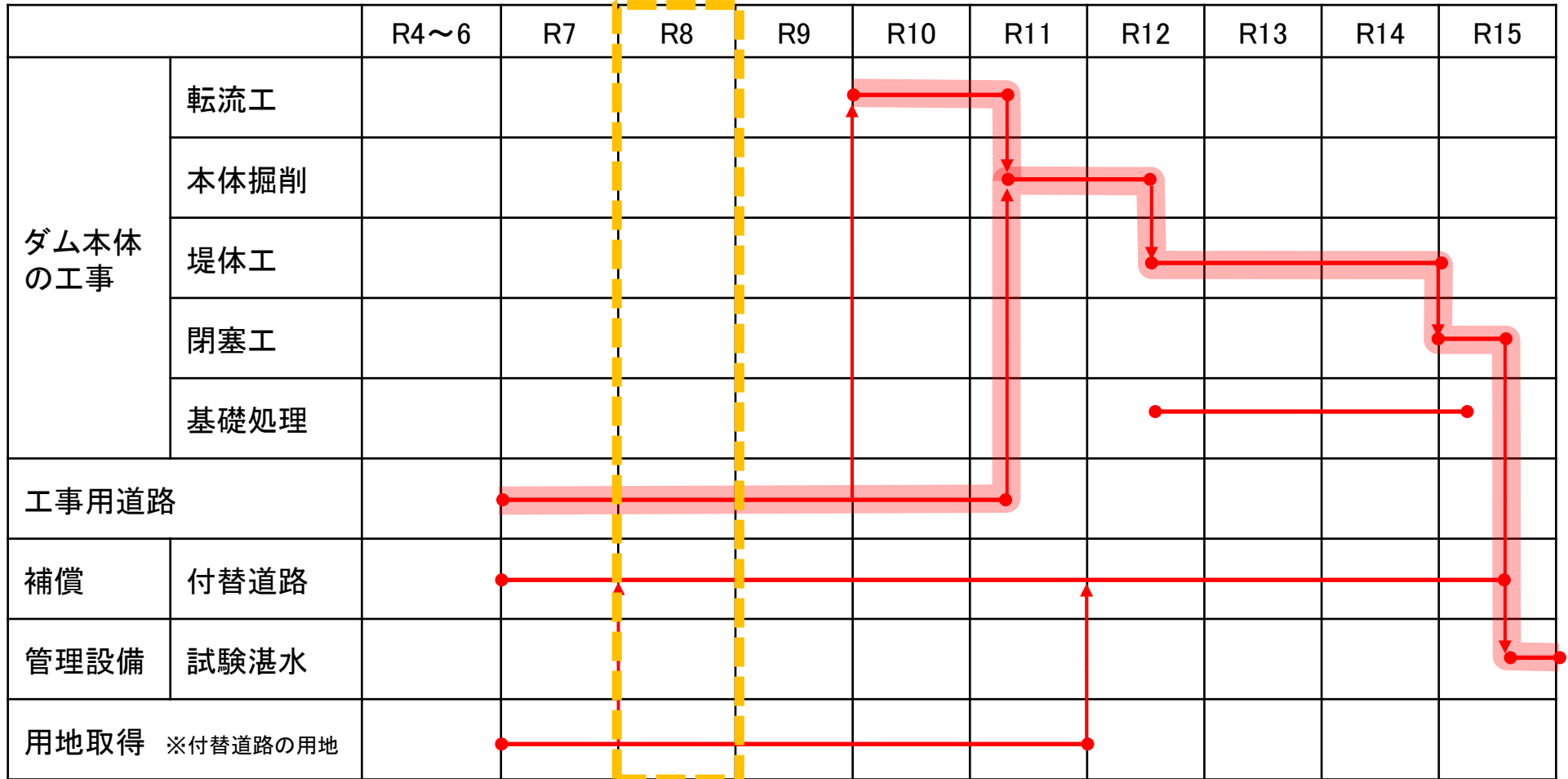


大戸川ダム建設予定箇所 現地状況(令和7年1月撮影)

※現時点の案であり、今後の調査・設計等により変更する可能性があります。

2. 事業進捗状況

1) 事業工程



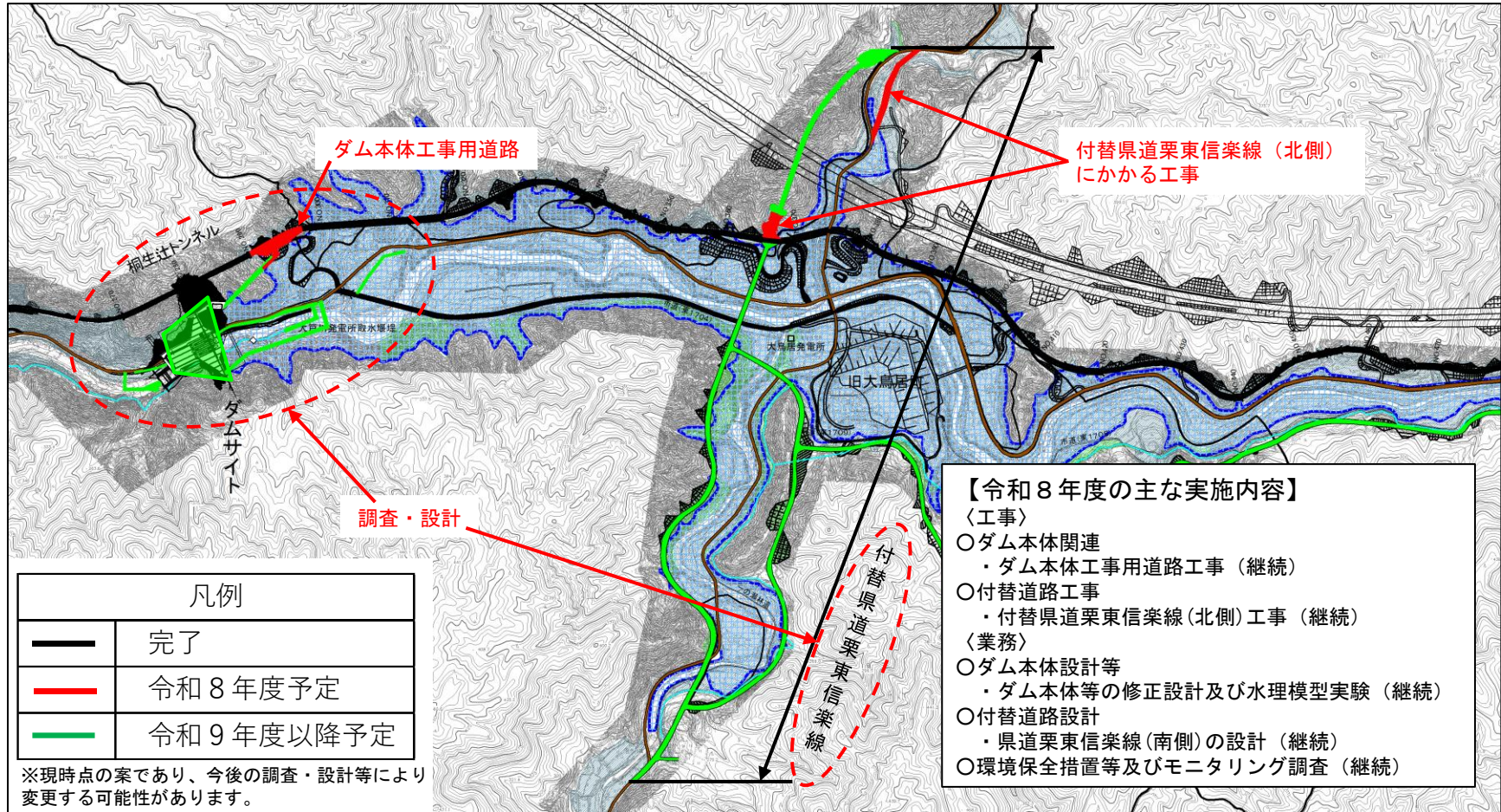
※現時点の案であり、今後の調査・設計等により変更する可能性があります。

2) 事業進捗率

令和8年3月末時点

用地取得 <small>※今後の調査・設計等により、取得面積に変更が生じる可能性がある</small>	民有地	100% (118ha) <small>※付替県道栗東信楽線等の付替ルートの検討により今後用地取得が必要となる見込み</small>
	国有地 (保安林)	約42% (19/45ha) <small>※ダム本体工事に必要な範囲は取得済みであり、未取得箇所は試験湛水開始までに取得予定。ただし、付替県道栗東信楽線等のルート検討により取得面積が変更となる場合がある。</small>
家屋移転		100% (55戸)
付替道路	県道大津信楽線	100% (7.1km)
	県道栗東信楽線 市道	0% ※付替県道栗東信楽線の工事に令和7年度より着手
ダム本体及び関連工事		0% ※ダム本体関連工事（ダム本体用工事用道路の工事）に令和7年度より着手

3) 事業の進捗状況



大鳥居地区の移転完了 (平成10年3月)



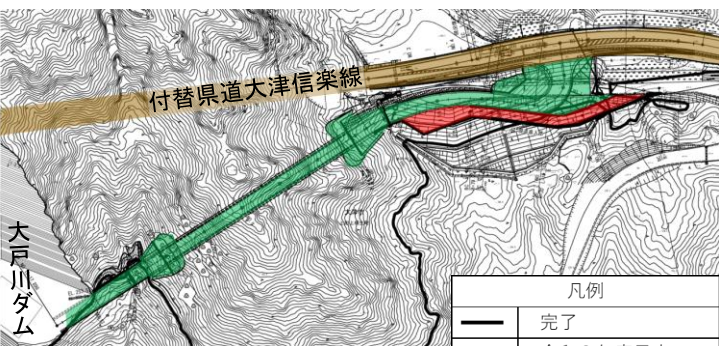
県道大津信楽線の付替完了 (令和5年3月)



ダム本体工事用道路工事

【主な実施内容】

- 令和7年度は、ダムサイト右岸天端へアクセスするための工事用道路に工事着手。
- 令和8年度は、ダムサイト右岸天端へアクセスするための工事用道路の工事を引き続き実施。



現地状況(令和7年4月撮影)



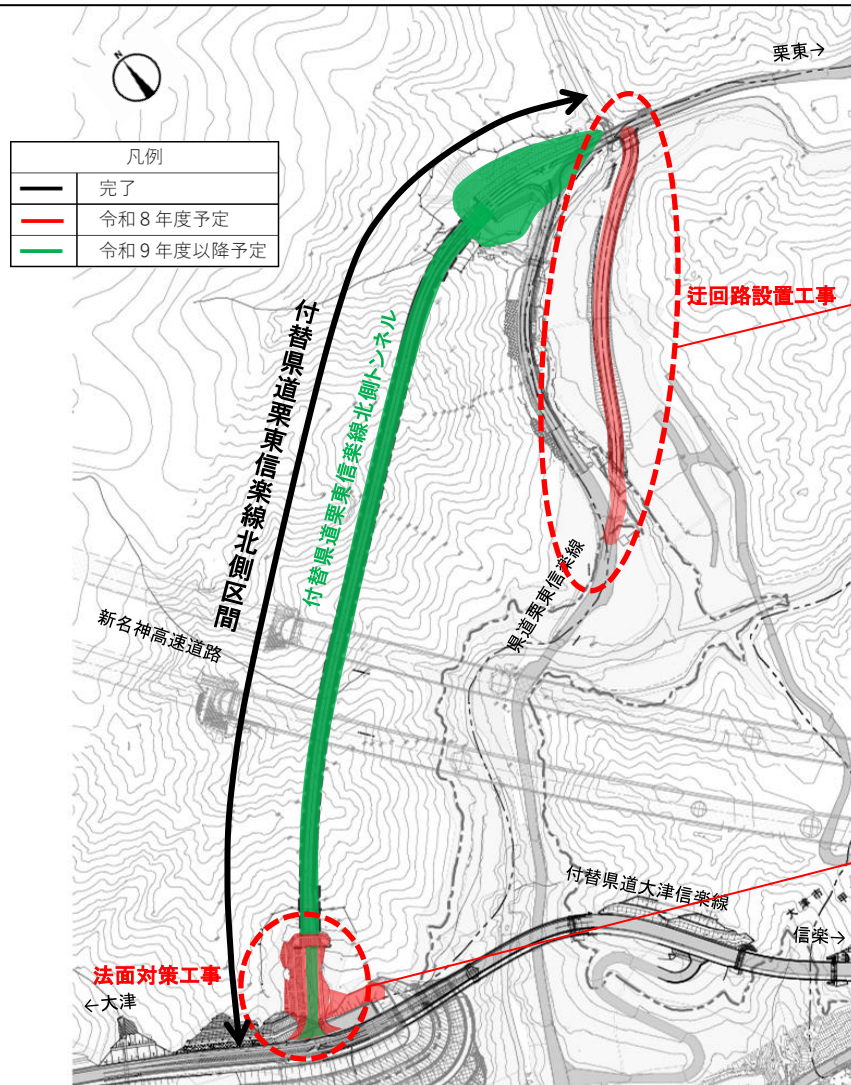
工事用道路イメージ

※現時点の計画であり、今後の調査・設計等により変更する可能性があります。

付替県道栗東信楽線(北側)工事

【主な実施内容】

- 令和7年度は、付替県道栗東信楽線(北側)の法面对策工事及び迂回路設置工事に着手。
- 令和8年度は、付替県道栗東信楽線(北側)の法面对策工事及び迂回路設置工事を引き続き実施。



迂回路設置工事 現地状況(令和8年3月時点)



法面对策 現地状況(令和8年3月時点)

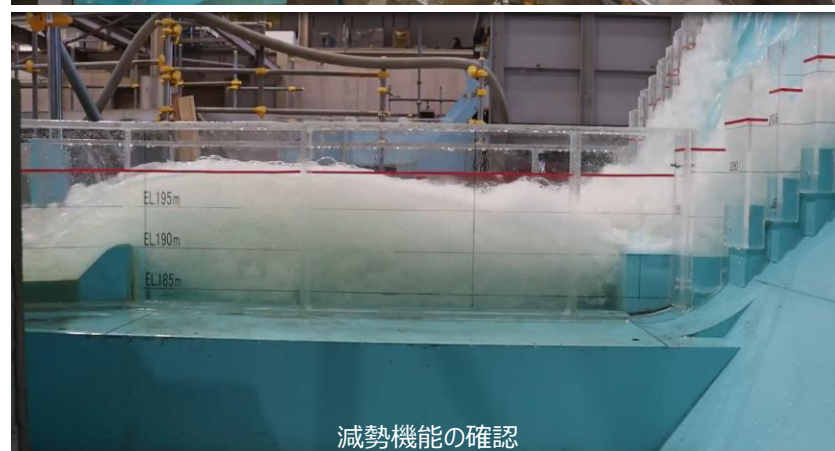
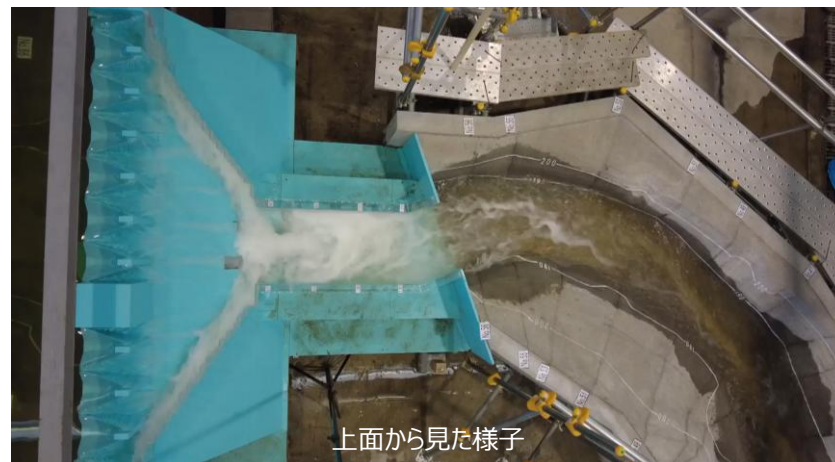
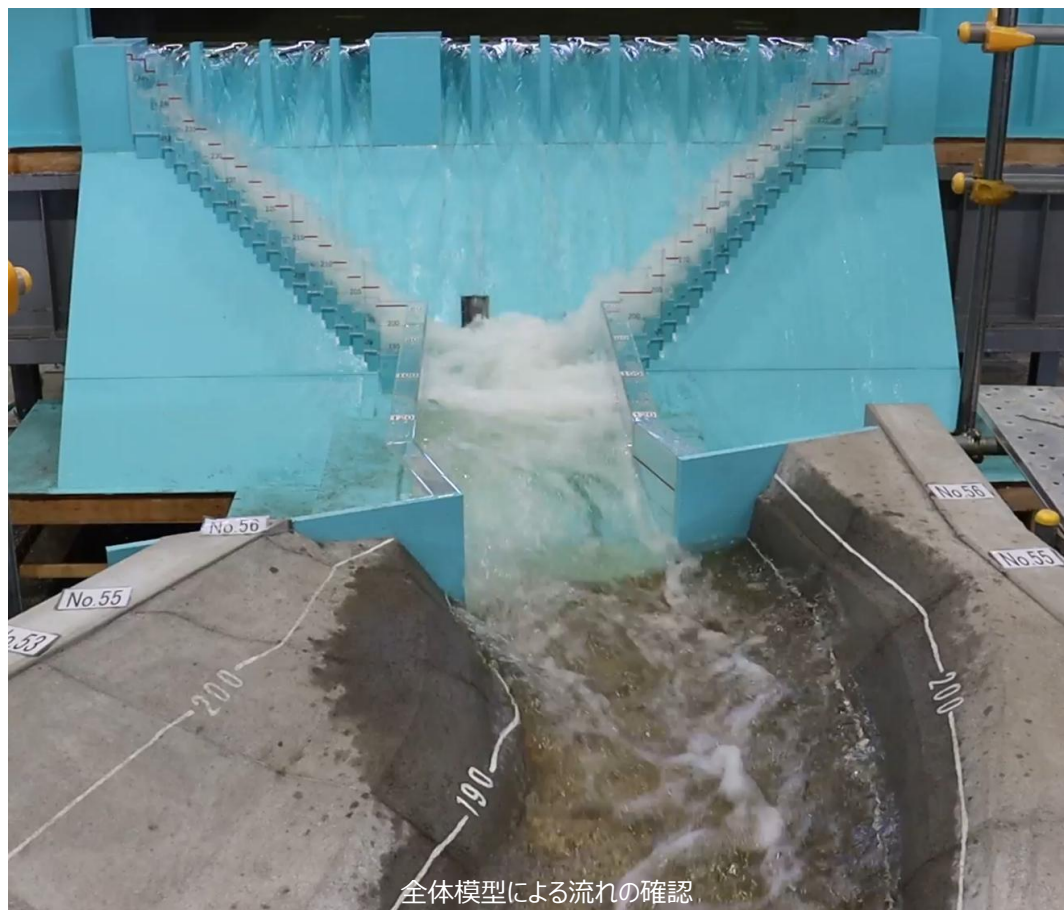
※現時点の案であり、今後の調査・設計等により変更する可能性があります。

ダム本体等の修正設計及び水理模型実験

【主な実施内容】

- 令和7年度は、ダム本体の実施設計及び水理模型実験を実施。
- 令和8年度は、これまでの地質調査・解析結果等を踏まえ、水理模型実験による確認を行いながらダム本体等の修正設計を引き続き実施する。

水理模型実験状況



※現時点の案であり、今後の調査・設計等により変更する可能性があります。

4. 前回委員会における指摘事項と対応状況

- 堤趾導流壁については、流れの対称性を考えて水理的特性・施工性・景観など総合的な観点で検討すること。引き続き情報提供すること。
 - ⇒堤趾導流壁の構造については、水理模型実験により水理的特性・施工性などの観点から検討を行っているところであり、検討の進捗に応じて適宜情報提供する。
- 右岸側道路の斜面对策について考慮されたい。
 - ⇒右岸側道路については、湛水に伴う地すべり等の確認を行い、設計を実施した。
なお、施工性や維持管理性、経済性を含む総合的な観点で構造の再検討を行い、斜面对策が最小限となる線形・構造に設計を見直した。



工事用道路イメージ

5. コスト縮減の検討状況

■ダム本体関連

- 仮置き掘削ずりの堤体骨材への適用 ⇒コンクリート配合試験を行い、適用性の確認を進めている
- 放流設備等の最適配置によるダム本体構造の合理化 ⇒水理模型実験を行いながら、放流設備等の最適配置を検討し、設計を進めている

■付替道路関連

- 栗東信楽線南側区間及び市道等の付替道路計画の見直し ⇒関係機関等と協議を進めている